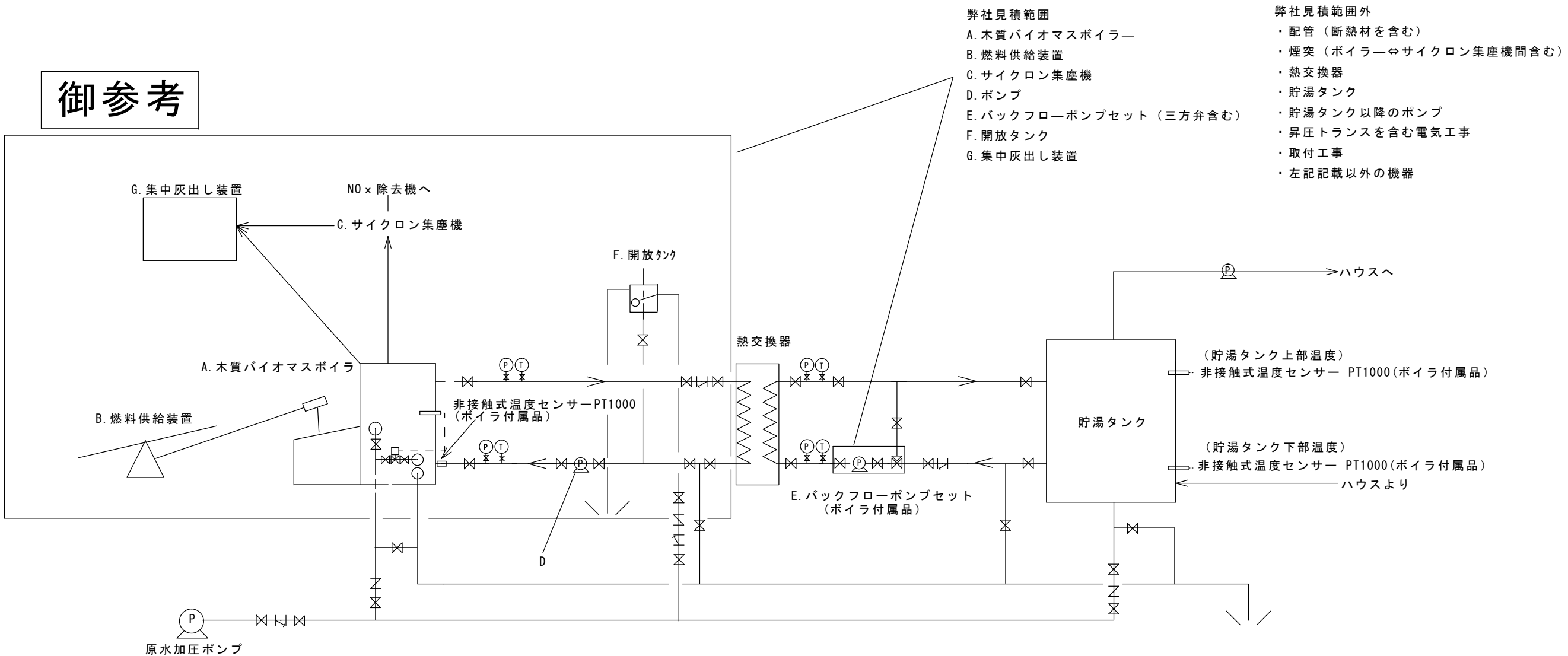


御参考



※バルブ、逆止弁、ストレーナの位置は参考です。現場状況に応じて適切な場所に設置願います。
※ボイラーは三台あります。それぞれに配管・煙突が必要です。
※見積範囲外の項目については材工共に見積範囲外となります。

ボイラー制御の概略

- ・貯湯タンクの上部温度が一定温度に下がり、ボイラー燃焼開始
- ・貯湯タンクの下部温度が一定温度に達し、ボイラー燃焼停止
- ・ボイラーが制御しているポンプは今回参考図では熱交換器のボイラー側のポンプDとバックフローセットの一部のポンプEの二か所
- ・これらのポンプはボイラー内部の結露防止のために制御され、結露防止の役割を終えた後は温水供給のために働く
- ・貯湯タンクからハウスに温水を供給するポンプ①はボイラーの制御外
- ・燃焼中は燃料量・ポンプ・排ガス等はボイラーで自動制御されるため理論値と実測値で誤差が生じる可能性があります。

台数制御について

- ・台数制御に関しては貯湯タンクの温度の状況に応じて制御が行われるため、必ずしもどれかのボイラーを止めるという制御は行われない
- ・一台ごとに燃焼開始と停止の貯湯タンク温度の設定変更を行い、燃焼開始の温度差を利用して台数ごとの燃焼の制御を行うことは可能
- ・もしくは、設定した時間ごとに稼働するボイラーを設定することは可能

外部システムとの連携について

- ・Herz社木質バイオマスボイラーでは外部システムでの操作はModbusという規格を用いて行われる
- ・接続についてはインターネットを介する
- ・Modbusを利用しての制御の可否・データの所得の可否の項目は別途お問い合わせください
- ・Modbusで変更不可の項目も機器本体のモニターでは変更可能の項目もあります。

御注文先 CUSTOMER'S NAME			名称 TITLE	形式 TYPE
年 月 日 DATE	尺度 SCALE	図名 DRAWING NAME		図番 DRAWING NO.
2023年3月1日	non	Herz社木質バイオマスボイラー 御参考フロー図		H230301-1-001
設計 DESIGNED by	製図 DRAWN by	検図 CHECKED by	緑 産 株 式 会 社 RYOKUSAN CO.,LTD	
高橋	高橋	高橋		